

【路線バスとコミュニティバスの再編(案)にかかる住民説明会での意見に対する市の考え方及び対応】

No.	タイトル	意見要旨	市の考え方及び対応	回答内容
1	減便	<ul style="list-style-type: none"> ・光陽台・舞コースにおいて市民病院発を減便しないでほしい。 ・再編という名の減便。利便性向上になっていないのではないですか。 ・今回の減便に続き、将来的にも減便が予想される。これのどこが持続可能なのですか。 	<p>今回の路線バスとコミュニティバス再編(案)につきましては、公共交通の持続性の確保を図るため、路線バスとコミュニティバスの重複運行区間の棲み分けを行うことにより輸送効率の改善を図るとともに、需要と供給の現状を踏まえ、利用者の少ないコースについては減便し、路線の見直しを行う予定をしております。</p> <p>また、本市では財政が危機的な状況にあることから、昨年2月に「財政非常事態宣言」を発出し、同年9月に「行財政構造改革プラン改訂版」を策定し、持続可能な行財政運営の確立に向け取組を進めているところです。</p> <p>プラン改訂版においては、令和2年度の実績が、コミュニティバスの年間の運行事業費が約4,700万円に対し、乗車人数が年間115,307人とどまり、乗車1回につき約408円の助成となっていることを踏まえ、事務事業の見直しの1項目として掲げています。</p>	市の考え方のとおり対応します。
2	ルート変更	<ul style="list-style-type: none"> ・地域から駅、市役所、市民病院にダイレクトに行けるようにしてほしい。 ・いずみが丘・箱の浦コースにおいて第6便のスタートを市民病院発にしてほしい。 ・桃ノ木台万葉台コースの第1便を、市民病院に直結させてほしい。 ・現在のコミバスのダイヤでも市民病院に行くのに1時間かかるため、ダイヤ、ルート設定を見直してほしい。 ・スーパーで買い物をした後、病院に寄って帰宅したいが、病院発便が市役所発便になり、不便です。帰宅時間に合わせてコミバスを市役所ではなく市民病院発にしてほしい。 	<p>再編(案)に対し、様々なご意見をいただいたところですが、以上のような状況の中、市民の健康に直接関わる市民病院と保健センターの停留所については、その乗降客数等を踏まえ、別添ダイヤ案のとおり、対応をさせていただく予定です。</p> <p>また、減便やルートの変更、サービスのさらなる向上等に関するご意見につきましては、現地域公共交通網形成計画を見直す際の検討課題といたします。</p>	
3	交通弱者への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は免許を返納すると自動車が使えなくなるため、バスの減便はしないでほしい。 ・高齢者の移動手段としてバスの予算、バスの台数、バス停をもっと増やしてほしい。 ・これからも増加していく高齢者の移動手段をどのように考えていますか。 	<p>また、減便やルートの変更、サービスのさらなる向上等に関するご意見につきましては、現地域公共交通網形成計画を見直す際の検討課題といたします。</p> <p>なお、将来にわたって課題となる高齢者の移動支援等の交通弱者への対応につきましては、今年度中に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、オンデマンド交通の実証実験を行う予定ですので、その検証結果を踏まえ、検討を進めてまいります。</p>	
4	利用料金	<ul style="list-style-type: none"> ・100円でバスを利用したい。(市民病院に行くとき。受診予約表を見せたとき。) ・受益者負担の考え方で、コミュニティバスの運賃値上げを検討してはどうですか。 		
5	サービスのさらなる向上	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの乗車時間の短縮にもなるため、電車と並行して運行するのではなく、各地域において駅と駅の駅間での運行をしてはどうですか。 ・事前に広報誌への掲載、時刻表折り込みするとのことですが、バス車両やバス停等にも事前周知の案内してはどうですか。 ・何時にどこから乗ったら何時にどこにつくというのが簡単にわかるようにしてほしい(アプリ等でなく) ・利用が増えるように抜本的な改革が必要と思いますがどうですか。 ・予算ありきではなく、必要性に重きを置き、本当に必要な人が利用しやすいようにしてほしい。 		